

# 2017年の締めくくりと 2018年 年頭所感等について

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

おかげさまで無事、2017年を終えようとしています。

JACDSは、本年も、さまざまな事柄に取り組んでまいりました。

本年はとにかく保険調剤に関する不正行為の多い年でありました。C型肝炎治療薬「偽ハーボニー」の流通から始まり、処方箋付替え請求問題、無診察処方箋の不正応需問題、そして、処方箋無しでの医療用医薬品販売がありました。特に、処方箋付替え請求問題では、自主点検を行ないましたが、回収率の低さから、現在、再調査を行っております。

第17回ジャパンドラッグストアショーで公表しました「街の健康ハブステーション構想」は、超高齢社会の切り札的存在として、中央省庁、地方行政から絶賛されました。来年より「街の健康ハブステーション」の実現に向けて、「健康サポートドラッグ」の申請・認定を本格的に進めてまいります。また、コンシェルジュ研修の講座も開講し、登録販売者を中心に受講が拡大しています。

また、機能性表示食品の届出は1000品目の大台を超えたものの、店売りのアイテムはまだ少なく、ドラッグストア各社は店頭販売を模索している状態です。そこで、「食と健康フェスタ」と題して、横浜市都筑区の2店舗で研究事業をスタートしました。都筑区の地域行政とタイアップした健康フェスタも開催し、多くの区民が健康セミナー、ヘルスチェックに訪れました。今後は研究事業を元に「食と健康」のプロジェクト活動を行います。

JACDSはこのドラッグストア業界の発展を確実かつ効率的に進めるため、さらに正・賛助両会員企業の発展に役立つ活動を強力に行なってまいります。

新たな2018年を迎えるにあたり、本日、次の3点をお届けいたします。

1. 年頭所感
2. 2017年の実施内容と今後の事業計画
3. 第18回JAPANドラッグストアショー開催概要

報道関係の皆さまには引き続き、JACDSの活動に対し、ご協力並びにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

**日本チェーンドラッグストア協会 事務局**

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階

TEL. 045-474-1311

FAX. 045-474-2569

**日本チェーンドラッグストア協会 会長 年頭所感**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

私たちドラッグストア業界は、関係する方々のおかげをもちまして 6.5 兆円規模 1.9 万店舗となり、国民生活に無くてはならない業態となりました。ドラッグストア業界は、2025 年に 10 兆円産業化を目指し、その実現に向けて業界をあげて取り組んでおります。

かつて、薬業界よりドラッグストアは「物売り」「医療にあらず」と揶揄する声がありましたが、ドラッグストア各社はこれまでの成長を通じて、人材力、組織力、資金力、システム力、店舗力などを構築してまいりました。超高齢社会にある我が国は、健康維持や予防、未病改善、自己治療、治療・介護との連携の重要性が訴えられています。私たちは、この求めを実践するために必要な「力」を蓄積してきたと自負しております。

そこで昨年は、新たな社会的役割を樹立するため「街の健康ハブステーション構想」を業界一致で決定し発表しました。その内容は、業界からの評価のみならず行政の方からも高い期待の声が寄せられ、現在その実現に向けた数多くの活動に取り組んでおります。

超高齢社会と現役世代の減少は、戦後つくられたあらゆる制度や方法の創り直しを求めているといわれております。現行の制度を死守し、次代の求めに何でも反対して現在の利益を確保しようとする既存利益団体がありますが、彼らが振りかざす正論はもはや次代に通用しないばかりか、彼らの実施内容のお粗末さと矛盾に大いに疑問さえ感じます。

2006 年より薬局が「医療提供施設」と位置付けられました。言い換えれば、薬局は一般の企業にも求められる「企業倫理」に加え「薬剤師倫理、薬局倫理」を加えて運営する必要があります。昨今の調剤報酬による不祥事は、全て「薬剤師倫理、薬局倫理の欠如」によるものであり、JACDS は「薬局倫理と基準」策定と徹底に取り組んでまいります。

本年は、診療報酬と介護報酬のダブル改定が行われます。現在の調剤報酬は、分業推進のために設定されたものであり、私たちは、今後は調剤報酬の「適正化」が必要であると考えております。生活者や患者のメリットとは関係なく「これをやるべき、その分の加算を」として、ただ調剤報酬を増やすことだけに熱心な業界であっては、現行医療制度の崩壊の道をたどり、国民の幸福を奪うこととなります。システムの導入やリフィル処方、テクニシャン制度の導入などの多くの課題に取り組み、調剤制度の効率化を図るべきだと考えます。国民が求める医療提供のために医療機関に報酬をまわし、医師の治療行為だけでなく健康指導も受けやすくすることも必要だと考えます。「何が国民を満足にするか」これを軸にあらゆる制度の見直し、実施内容の組み替え策に対して協力してまいります。

薬局や店舗販売業の個店の消滅を危惧する声があります。個店は、やれるところまで営業を続けるか、生活者満足を提供する存在になるかの岐路にあります。前者の延命支援は中小企業保護の観点から補助金で行うべきです。しかし、後者については JACDS と連携し、お互いの弱点の補完と強みを生かし合って、どこにもない地域生活者・患者の新たな満足を創り出すことが可能であり、その実現に向けた取り組みに力を入れてまいります。

2018 年はドラッグストア業界にとって国民生活に寄与し業界を発展させるための「覚悟の年」であると考えております。JACDS は、超高齢社会の社会的・地域的新しい役割を持つドラッグストアになるため、業界をあげて数多くの課題に取り組んでまいります。

本年も関係する皆様のご理解とご指導、絶大なるご支援を心よりお願い申し上げます。

2018年1月1日

日本チェーンドラッグストア協会  
会長 青木 桂生

## JACDSにおける2017年の実施内容と今後の事業計画

### ■ 2017年の実施内容

- 1) セルフメディケーション税制への対応
- 2) 偽造薬ハーボニーへの対応
- 3) 処方箋付替え問題への対応
- 4) 消費増税の価格表示問題への対応
- 5) 「街の健康ハブステーション構想」の発表
- 6) 「次世代ドラッグストアビジョン」の発表・普及浸透
- 7) 規制緩和対応（薬局二重申請解消、検体測定室ガイドライン見直しなど）
- 8) 機能性表示食品制度の拡大に向けた活動&スマイルケア食（介護食）の拡大に向けた活動
- 9) 地方自治体とのパイプ強化活動
- 10) 登録販売者の組織強化
- 11) 調剤ポイント付与実質解禁への対応
- 12) ドラッグストア業界研究レポート報告会（6月、11月）を開催
- 13) そらぶちキッズキャンプ支援（募金活動）
- 14) 万引き防止や地球温暖化対策への啓発活動
- 15) 城西大コミュニティファーマシーインターンシップ
- 16) 記者意見交換会の実施（毎月2回）
- 17) （一財）日本ヘルスケア協会活動発表会への後援・協力
- 18) その他

### ■ 今後の事業計画（案）

#### 1. 基本重点施策

##### 1) 予防、医療、介護分野への積極的な参画

健康寿命の延伸、調剤機能の拡大、機能性食品やスマイルケア食マーケット等の創造、スイッチOTC拡大、スイッチ検査薬の普及、情報提供システムの整備、受診勧奨ガイドラインの作成、人材育成・資質の向上、在宅介護支援、セルフバイタルチェックの普及、日本再興戦略の現場実効性検証を要請 など

##### 2) 「街の健康ハブステーション構想」の実現

「健康サポートドラッグ」の認定、コンシェルジュマスター制度の普及、サポートパートナーの研究  
突然死撲滅とAED（自動体外式除細動器）の普及、ペットケアの普及、  
「ながら筋トレ体操」の普及、ドラッグストア機能評価システム など

##### 3) 365日24時間営業の研究・拡大

効率的なオペレーションの確立、電子タグの活用実証実験、新たな立地・新しい買い物の創造  
地域ニーズへの対応 など

#### 2. 全体的目標

2025年にドラッグストア業界を10兆円産業にする

#### 3. 具体的実施内容<各委員会の総括>

- 1) セルフメディケーションの推進
  - (1) 検体測定室ガイドラインの見直し
  - (2) セルフメディケーション税制の活用推進
  - (3) 消費税の価格表示の自由裁量の恒久化

- (4) 医薬品への軽減税率範囲拡大に向けたロビー活動
  - (5) 機能性表示食品の普及推進
  - (6) スマイルケア食（在宅介護食品）の普及推進
  - (7) 要指導医薬品、第一類医薬品の販売強化
  - (8) 健康サポート薬局への薬剤師研修対応
  - (9) スイッチ検査薬の普及とスイッチOTC拡大活動
  - (10) 薬剤師の職域拡大の研究
  - (11) 地域自治体とタイアップした健康寿命延伸に関する生活者への告知・啓発活動の強化
  - (12) 第13回セルフメディケーションアワードの実施
  - (13) 第6回健康（セルメ）川柳コンクールの開催 など
- 2) ドラッグストアの運営・販売力強化
- (1) 電子タグ＝RFIDの実証実験・研究
  - (2) 365日24時間営業の研究
  - (3) 医薬品のリアル店舗販売とネット販売の融合研究
  - (4) 薬剤師、登録販売者ら専門家の一層活発な情報提供・相談応需 など
- 3) ドラッグストア調剤の拡大（面分業の推進）
- (1) 薬剤師の確保に向けた取組み⇒薬系大学にドラッグストア業界を知らしめる
  - (2) コンプライアンスの徹底
  - (3) 勤務薬剤師組織の提案
  - (4) 保険医療機関の敷地内薬局の解禁動向の注視
  - (5) 代替調剤、テクニシャン制度、リフィル処方などの研究
  - (6) 調剤ポイント付与の継続 など
- 4) 人材育成
- (1) コンシェルジュ制度の普及・拡大
  - (2) 登録販売者の資質向上継続研修の充実・拡大の支援
  - (3) 薬剤師の資質向上支援研修
  - (4) アドバイザー認定制度の一層の普及推進
  - (5) 介護情報提供員制度の拡大
  - (6) ドラッグストア業界研究レポート報告会（春・秋）の開催 など
- 5) 会員サポート事業
- (1) 2020年に向けた流通BMSの普及推進
  - (2) 有事における支援体制スキームの作成
  - (3) 防犯対策（万引き防止）への取組み強化（緊急連絡網の全国的整備など）
  - (4) 社会貢献活動（支援募金、地球温暖化対策）に関する情報提供と普及推進
  - (5) 顧問団による会員サポートの充実 など
- 6) 行事・イベント
- (1) 第18回ジャパンドラッグストアショー開催  
2018年3月16日（金）17日（土）18日（日）千葉・幕張メッセ  
15日（木）にプレビュー開催を実施
  - (2) 薬剤師の資質向上に関するセミナー（健康サポート薬局、認定薬剤師）
  - (3) EDI特別セミナー
  - (4) 第13回セルフメディケーションアワード発表会
  - (5) 第6回健康（セルメ）川柳コンクールの発表会  
以上、第18回ジャパンドラッグストアショー同時開催
  - (6) 各種セミナー・勉強会の開催  
ドラッグストア業界研究レポート報告会の開催（6月、11月） など

**第 18 回 JAPAN ドラッグストアショーについて**

- テーマ 「人に、地域につながるドラッグストア」  
～くらしを豊かにするセルフメディケーション～
- 会 期 ・ 2018 年 3 月 16 日（金）、17 日（土）、18 日（日）  
開催時間 10:00～17:00（3日間）  
・ 3 月 16 日、17 日、18 日 バイヤーズデイ  
・ 3 月 17 日、18 日 一般公開日  
※プレビュー開催 3 月 15 日 14:00～18:00（予定）
- 会 場 幕張メッセ（4・5・6・7・8、ホール）
- 協 賛 オールジャパンドラッグ（株）、（株）ニッド・日本ドラッグチェーン会
- 後 援 厚生労働省、経済産業省、千葉県、千葉市、一般財団法人日本ヘルスケア協会、中国チェーンドラッグストア協会、全米チェーンドラッグストア協会（NACDS）、米国大使館、駐日大韓民国大使館、大韓貿易投資振興公社（KOTRA）、台北駐日経済文化代表処、台湾貿易センター（TAITRA）、香港貿易発展局（HKTDCC）、特定非営利活動法人日印国際産業振興協会（JIIIPA）、日本政府観光局（JNTO）、日本貿易振興機構（JETRO）、日本 OTC 医薬品協会、日本一般用医薬品連合会、一般社団法人シルバーサービス振興会、公益財団法人日本健康・栄養食品協会、一般社団法人日本果汁協会、一般社団法人ペットフード協会、日本ジェネリック製薬協会、株式会社プラネット（予定）
- 入場料 無料
- 来場見込 約 13 万人（4 日間延べ人数）
- 規模 出展社（予定）400 社、出展小間（予定）約 1200 小間
- 見どころ
1. JACDS テーマブース（予定）
    - ・ 高齢者へ対応するためのドラッグストアの新しい機能と役割、また、セルフメディケーションを推進するための課題と取組みについて提案
    - ・ 「食と健康」をキーワードにした解説、取組み課題について提案
    - ・ ドラッグストア業界 10 兆円産業への新たな課題・提案・取組について紹介
    - ・ JACDS の活動について紹介
    - ・ その他
  2. ヘルス&ビューティ情報ステーション 2018  
一般来場者への生活提案と業界向けのビジネスチャンスに活かすドラッグストア活用提案等を総合的に展示紹介
  3. 新製品コレクション 2018 とブースコンテスト 2018 を今年も展開
  4. 特別企画セミナー  
ビジネス向けの「ビジネスセミナー」と一般生活者向けの「ヘルス&ビューティセミナー」を実施
  5. 第 13 回セルフメディケーションアワードの発表
  6. 第 6 回健康（セルメ）川柳 作品展示  
毎回、大変多くの作品が応募されている
  7. その他